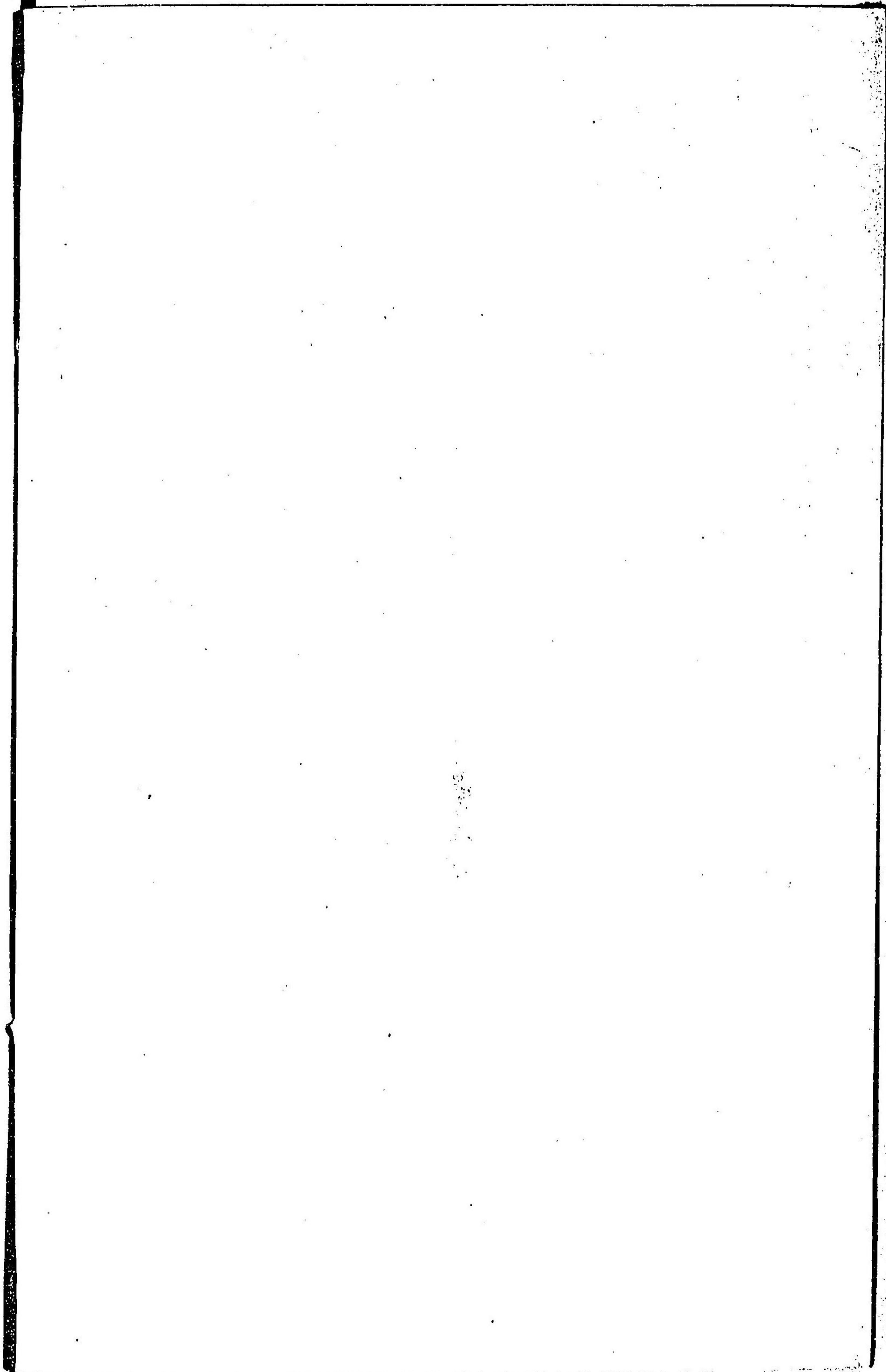
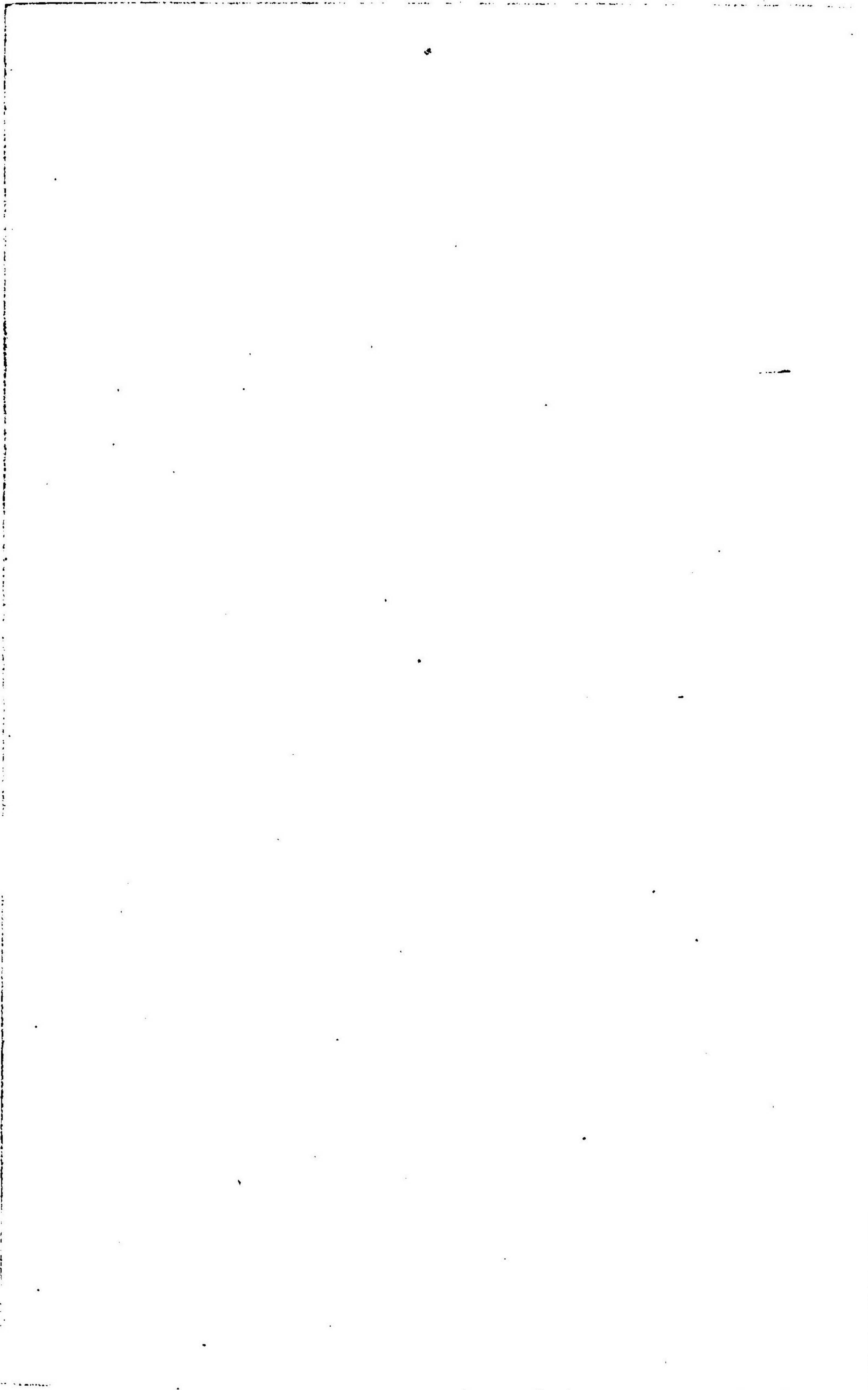


2
447

訂正
觀世流議外
孫或番

全
札
大
江
山
岩
舟
知
亭
備
成
忠
則
士



入札

第

風を志すはさるるのまじくは

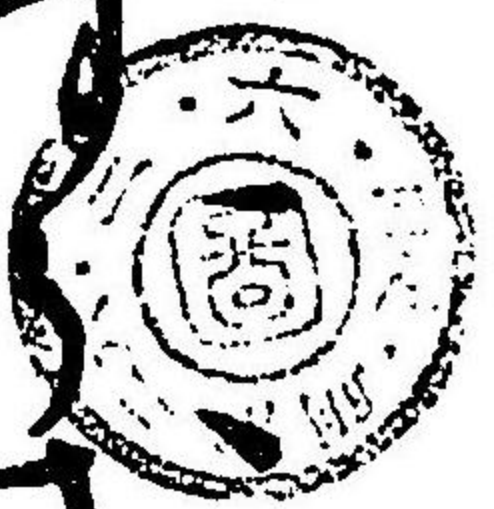
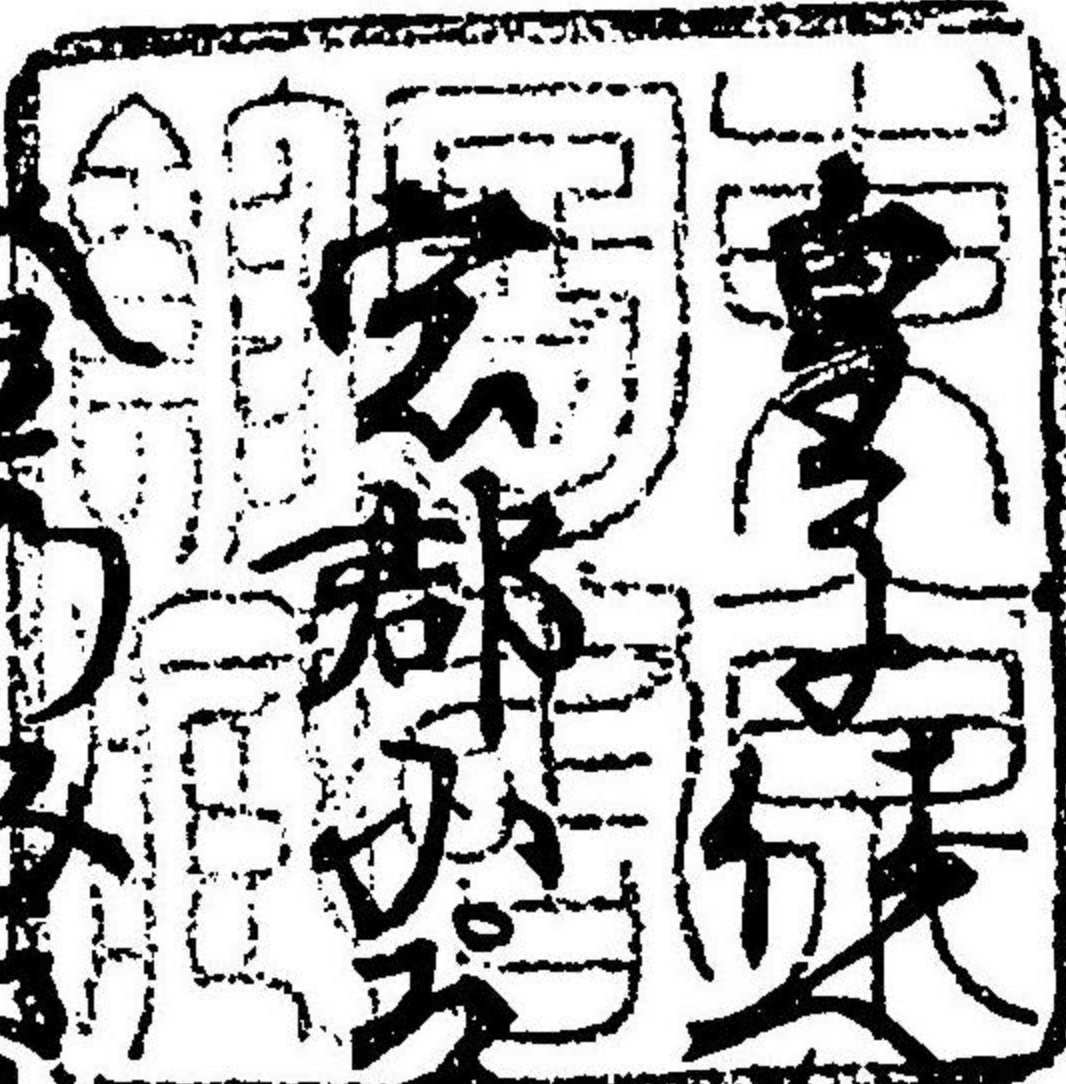
無校なるはさるる早為 作是入札武天

皇太子候の如鳥下也梅山山城國愛

宕郡の如 表都と云ふは白土去安

金乃守心さるるはさるる由國侯見

の里心大宮侯の如さるるの勅宣所



夢の唯い倭見下向はる

禁^上一^上ら^上も^上を^上ら^上左^上は^上ら^上ぬ^上く

迷^上ま^上り^上陰^上小^上核^上居^上と^上同^上も^上備^上

く^上さ^上く^上の^上時^上神^上の^上昔^上も^上あ^上ら^上ぬ^上

下^上へ^上舞^上く^上 ^上あ^上ら^上ぬ^上 ^上あ^上ら^上ぬ^上

が^上う^上國^上を^上れ^上ら^上ま^上ら^上ま^上ら^上が^上た^上り^上に^上隱^上

願^上あ^上ら^上ぬ^上 ^上あ^上ら^上ぬ^上 ^上あ^上ら^上ぬ^上 ^上あ^上ら^上ぬ^上

御^上代^上と^上身^上り^上ぬ^上 ^上あ^上ら^上ぬ^上 ^上あ^上ら^上ぬ^上

き^上よ^上神^上と^上君^上 ^上あ^上ら^上ぬ^上 ^上あ^上ら^上ぬ^上 ^上あ^上ら^上ぬ^上

麻^上を^上入^上ま^上ぬ^上 ^上あ^上ら^上ぬ^上 ^上あ^上ら^上ぬ^上 ^上あ^上ら^上ぬ^上

ま^上を^上入^上ま^上ぬ^上 ^上あ^上ら^上ぬ^上 ^上あ^上ら^上ぬ^上 ^上あ^上ら^上ぬ^上

あ^上ら^上ぬ^上 ^上あ^上ら^上ぬ^上 ^上あ^上ら^上ぬ^上 ^上あ^上ら^上ぬ^上

代^上表^上ま^上ら^上ぬ^上 ^上あ^上ら^上ぬ^上 ^上あ^上ら^上ぬ^上 ^上あ^上ら^上ぬ^上

乃^上ま^上ら^上ぬ^上 ^上あ^上ら^上ぬ^上 ^上あ^上ら^上ぬ^上 ^上あ^上ら^上ぬ^上

大石

秋内（秋内）の音（音）を（を）た（た）へ（へ）て（て）西（西）ノ（ノ）也（也）云（云）々（々）
 ち（ち）ら（ら）だ（だ）ら（ら）ん（ん）と（と） （新）松（松）是（是）多（多）少（少）の（の）頼（頼）き（き）と（と）
 の（の）我（我）中（中）也（也）梅（梅）と（と）丹（丹）波（波）國（國）の（の）境（境）
 鬼（鬼）作（作）の（の）事（事）は（は）あ（あ）の（の）あ（あ）と（と）葉（葉）の（の）行（行）き（き）つ（つ）
 我（我）を（を）保（保）正（正）よ（よ）の（の）身（身）に（に）お（お）ま（ま）り（り）と（と）も（も）あ（あ）ら（ら）ず（ず）も（も）あ（あ）ら（ら）ず（ず）
 さ（さ）申（申）や（や）後（後）大（大）規（規）を（を）も（も）と（と）も（も）人（人）倫（倫）を（を）

作と^{ニテ} 我右と酒天音子とさる
 の音酒と般若とさるるきこさる
 子酒音子とさるるかたての音
 乃うびと國よりきくと酒厚の面白
 のいあゝる音僧をまきこる色久
 信^キう〜酒よ〜下とれ久〜よひ山
 とら〜乃びさるる行布信あ〜ゆそ

我比^{ニテ} 叡山と市代乃まき〜^キ一
 月とさ〜よ大所作坊とらゆき人
 嶺よの根本中堂とたてて樓子七社
 の靈神とら〜る美ま〜におよこ
 十部文の楠とあ〜る奇瑞とさる
 殿よ大所作坊一首の音よ^下阿耨多羅
 三藐三菩提の信とら^有我ま〜の松よ

冥かあもせんと有るははらと大伴

坊はあもせんと有るははらと大伴

うらあもせんと有るははらと大伴

あもせんと有るははらと大伴

あもせんと有るははらと大伴

あもせんと有るははらと大伴

あもせんと有るははらと大伴

夷中 沖方シテ向の古心と歌るはらと大伴

あもせんと有るははらと大伴

あもせんと有るははらと大伴

あもせんと有るははらと大伴

あもせんと有るははらと大伴

あもせんと有るははらと大伴

あもせんと有るははらと大伴

六 此 法 師 出 入 菴 居 一 觀

三 くの 法 住 者 かく 見 せ せ ませ して

多 一 可 よ 今 客 僧 等 一 人 あり せ ぬ

中 通 力 せ せ ぬ せ ぬ せ ぬ せ ぬ せ ぬ せ ぬ

思 考 今 一 人 あり せ ぬ 一 人 あり せ ぬ

く 一 筋 一 頼 言 一 樹 乃 陰 一 行

の 流 せ せ ぬ せ ぬ せ ぬ せ ぬ せ ぬ せ ぬ

乃 行 一 人 一 人 一 人 一 人 一 人 一 人

多 一 可 一 可 一 可 一 可 一 可 一 可

か 出 せ せ ぬ せ ぬ せ ぬ せ ぬ せ ぬ せ ぬ

外 一 人 一 人 一 人 一 人 一 人 一 人

な 一 人 一 人 一 人 一 人 一 人 一 人

内 才 一 人 一 人 一 人 一 人 一 人 一 人

か 一 人 一 人 一 人 一 人 一 人 一 人

あさるうせなまはなふ^{上考ハ}陸奥のあす原
の塚まきまじく^カ鬼薨まきつあまきり
お^カ成^カ法^カ身^カう^カく^カさ^カら^カな^カさ^カる^カ大^カ山^カ
の野乃^カ道^カの^カお^カら^カき^カ夫^カれ^カう^カた^カく^カよ^カ
乃海^カ大^カ山^カの^カ天^カ狗^カの^カ我^カ志^カる^カい^カま^カま^カ
ま^カう^カあ^カら^カま^カじ^カよ^カう^カた^カく^カ酒^カの^カま^カま^カ
く^カぢ^カら^カあ^カら^カま^カ行^カく^カそ^カう^カう^カ

秋乃山草桔梗うら^カあ^カ我^カさ^カう^カう^カ雲^カ霧^カ
よ^カう^カ行^カや^カし^カん^カの^カ志^カを^カあ^カま^カら^カけ^カう^カま^カ
な^カま^カお^カそ^カレ^カて^カ上^カの^カま^カま^カう^カく^カ丹^カ後^カ丹^カ波^カ
の^カ境^カな^カら^カ鬼^カの^カ城^カを^カ行^カゆ^カカ^カ頼^カと^カ
ま^カの^カし^カな^カの^カ酒^カの^カ枝^カを^カあ^カぬ^カ而^カも^カ交^カ
は^カく^カあ^カら^カま^カき^カ酒^カの^カさ^カら^カ井^カの^カ鬼^カや^カあ^カり
そ^カよ^カあ^カら^カま^カじ^カな^カま^カく^カ秋^カの^カあ^カら^カま^カく^カ信^カ

大江

七

ふんしん^{三二下}命ハ君のきあぶの神國氏
社南無^{三二下}やの備山王權現^{三二下}のわたり力
とま^{三二下}く^{三二下}頼光保正細公時^{三二下}り
高^{三二下}ま^{三二下}た^{三二下}き^{三二下}ひ^{三二下}り^{三二下}む^{三二下}也^{三二下}と^{三二下}い^{三二下}ふ
う^{三二下}く^{三二下}あ^{三二下}ら^{三二下}さ^{三二下}た^{三二下}る^{三二下}鬼^{三二下}の^{三二下}う^{三二下}り
は^{三二下}ら^{三二下}ん^{三二下}と^{三二下}り^{三二下}の^{三二下}む^{三二下}ら^{三二下}ぬ^{三二下}き^{三二下}箱^{三二下}書^{三二下}震^{三二下}
動^{三二下}あ^{三二下}り^{三二下}と^{三二下}い^{三二下}ふ^{三二下}僧^{三二下}也^{三二下}

ま^{三二下}ら^{三二下}ん^{三二下}と^{三二下}り^{三二下}の^{三二下}鬼^{三二下}作^{三二下}の^{三二下}横^{三二下}道^{三二下}
ま^{三二下}ら^{三二下}ん^{三二下}と^{三二下}り^{三二下}の^{三二下}鬼^{三二下}神^{三二下}の^{三二下}横^{三二下}道^{三二下}の^{三二下}あ^{三二下}ら^{三二下}も
中^{三二下}く^{三二下}ら^{三二下}の^{三二下}あ^{三二下}ら^{三二下}の^{三二下}あ^{三二下}ら^{三二下}の^{三二下}あ^{三二下}ら^{三二下}の^{三二下}あ^{三二下}ら^{三二下}
ま^{三二下}ら^{三二下}ん^{三二下}と^{三二下}り^{三二下}の^{三二下}あ^{三二下}ら^{三二下}の^{三二下}あ^{三二下}ら^{三二下}の^{三二下}あ^{三二下}ら^{三二下}の^{三二下}あ^{三二下}ら^{三二下}
は^{三二下}ら^{三二下}ん^{三二下}と^{三二下}り^{三二下}の^{三二下}あ^{三二下}ら^{三二下}の^{三二下}あ^{三二下}ら^{三二下}の^{三二下}あ^{三二下}ら^{三二下}の^{三二下}あ^{三二下}ら^{三二下}
なり^{三二下}の^{三二下}あ^{三二下}ら^{三二下}の^{三二下}あ^{三二下}ら^{三二下}の^{三二下}あ^{三二下}ら^{三二下}の^{三二下}あ^{三二下}ら^{三二下}

後世に傳へては、
國住言の浦よ下向仕る
とて、
きりある穀や
よまじりて神よんまじり君よ尊

妹津胎孫の竜神也
神代よりまじり
此代よりまじり
一なり
毎
下
まの

龍神

かきく拍子お持あつる浪
たかきく海へ信者の松たけ
多岐よきまきりてあつたお
まきく海へ開く瀟々浪
かきく大竜王の海上より
は母の傍へあつたまきり
まきくあつたまきりて
まきくあつたまきりて

あつたまきりてあつたまきり
あつたまきりてあつたまきり
あつたまきりてあつたまきり
あつたまきりてあつたまきり
あつたまきりてあつたまきり
あつたまきりてあつたまきり
あつたまきりてあつたまきり
あつたまきりてあつたまきり
あつたまきりてあつたまきり
あつたまきりてあつたまきり

知章

第一
云と心乃志人かくくがらぬ

振早約出又 是ハ西國方より

たる僧よりハ社来都と云ふ

ハ人々思ふ言古一見と云ふ

抄振夜ハ重ハ塩路と云ふ

於と云ふと云ふハ云と云ふ

奥津船舫は字世に道ゆく
 海守の浦なる瀬よ
 柁も我鄙乃に
 是成磯の
 卒初集と
 善と
 物故平に知章

知章と平家の
 痛く
 是の
 平に知章と
 作や

乃玉の教を以て 法を授けしは
 ありきよ。一見卒都婆永劫二悪
 道がまぢりありきよ。必す安樂は
 物故卒に知章成等正覺 即自
 多人志上げの我をききぬ身志の
 毛り馬の家人あり法よじきつ
 佛果よむり念や ^{上壽} 一念なり此

法よく二悪の羅ハ清ぬへしき
 して好ましく法の清けほりの家
 きたと道縁もりし如き好(ま)しく
^{甲の} 相知世の所定法の行さるあつ物
 給りしゆそ ^法 法知世のあつ
 きたる釣舟のほとあつし。遠き
 中乃河右舟よ長舟をとり給ふ

甲 板より船に上りて船中を歩くと

三 船中を歩くと船中を歩くと

船中を歩くと船中を歩くと

二十餘町の海を面してあり

船中を歩くと船中を歩くと

船中を歩くと船中を歩くと

船中を歩くと船中を歩くと

船中を歩くと船中を歩くと

船中を歩くと船中を歩くと

船中を歩くと船中を歩くと

船中を歩くと船中を歩くと

船中を歩くと船中を歩くと

船中を歩くと船中を歩くと

船中を歩くと船中を歩くと

船中を歩くと船中を歩くと

かりり人 多 極 一 雨乃有核
 かりに つ ち く ち ん 名 の ち き 所
 田 の ま を ち を ち を 入 る 家
 井 を ぐ り の り ち り ぐ
 不 さ 於 氣 父 う 邪 世 主 上 位 殿
 ち き 女 の ち の 日 の ち の 父 の 子 の 一
 門 の 船 の ち の 海 の ち の ち の ち の 一

かの陰殿の子存まじりて身は
 中 上 中 に 親 の 新 中 初
 言 の 枝 の 枝 の 枝 の 枝 の 枝 の 枝
 うち の 枝 の 枝 の 枝 の 枝 の 枝
 打 出 ち の 枝 の 枝 の 枝 の 枝
 又 の 枝 の 枝 の 枝 の 枝 の 枝
 本 の 枝 の 枝 の 枝 の 枝 の 枝

一、心よりたゞしきを極つて其業を
 一、下所せし思ひを以て神傳の如く
 一、多有難や。是を法之法を友と
 一、下せしきを以て知章の跡を以てた
 一、ひ給ふなり。あはれとてしとて其業を

倭成巻別

口
甲内

一、如様よの巻の。武藏國の住人國造に
 一、六は古忠もさきかへりも今
 一、亦西海乃合我よ。薩人守忠則と
 一、其の事いふ多し。以上は神傳の
 一、及麻籠とてしは神の短冊乃其の
 一、又承へハ。五条乃二位倭成師と和

歌乃清直男が由ら國此短冊を
てまり後成り目お急をわし
らる業のりか^上ねさくわしりぬそ
思^上うけおぼさ忠^上徳のまうたさう
甲^上う^上く^上お^上よ^上ら^上る^上女^上
ま^上く^上有^上そ^上 國^上に^上お^上ぶ^上さ^上忠^上徳^上の^上ね
云申^上り^上き^上ら^上る^上 後^上し^上か^上く^上し^上り^上

^上ま^上へ^上ら^上び^上さ^上ら^上ま^上う^上ら^上 甲^上あ^上ら^上よ^上
ら^上忠^上徳^上に^上ら^上ん^上行^上る^上為^上よ^上あ^上ら^上
信^上と^上ら^上そ^上 後^上は^上こ^上の^上身^上今^上に^上あ^上ら^上か
知^上の^上後^上よ^上ら^上る^上西^上海^上乃^上合^上新^上よ^上 隆
ら^上ま^上忠^上則^上と^上ら^上果^上う^上手^上に^上ら^上る^上文^上に
よ^上ら^上る^上流^上雷^上お^上ら^上な^上ま^上に^上か^上ら^上る^上
短冊の^上ま^上へ^上ら^上る^上忠^上則^上と^上ら^上清^上ら^上ら^上

我手の口値器の由取具所目に
 けりやと存念。今色ちてま
 了る後。其方給り人宮や馬
 の道きねと所。毎ら所けり
 置念のけ義さ相。行と後病の死
 せと起さく下丸。行きまて来下けり
 宿まらねと清け目あり安し

痛り也忠則の破戒むと羅
 せと事にて義礼智信五の道もた
 ちと事奇道と傳者なりゆえ安よ
 名所あま命人ヤラ文武二道の忠則の
 船とまきく破片は皇よりた後
 和やくニサレ。たこと精清し。思ふ所
 うせいつた夕の雲心たの重た塩

入磨世よあくなうて^カ予^ノ時^ノは^ハ海
 紀貫之^ノ色^ノ躬^ノ直^ノも^ハく^レこ^ノう
 松の^ノ地^ノは^ハけ^レら^レる^ハせ^ハら
 あり^ノま^ハり^ノう^レる^ハあ^ハら^ハり^ノ身^ノは^ハ跡
 あり^ノ其^ノ海^ノは^ハら^ハり^ノき^ハら^ハり^ノあ^ハら^ハり
 方^ノ奇^ノよ^ハり^ノ社^ノを^ハ細^ノ更^ノの^ノ細^ノ更^ノ又^ノ婦^ノの
 縁^ノも^ハ此^ノ奇^ノの^ノ情^ノを^ハら^ハり^ノ善^ノ名^ノは^ハ

行^ノの^ノ夜^ノも^ハら^ハり^ノわ^ハら^ハり^ノま^ハら^ハり^ノみ
 き^ノ及^ノ津^ノ別^ノの^ノま^ハら^ハり^ノり^ノて^ハ島^ノ跡^ノは
 音^ノ程^ノの^ノら^ハり^ノあ^ハら^ハり^ノわ^ハら^ハり^ノし
 淨^ノ修^ノき^ハり^ノ又^ノ修^ノ修^ノ玉^ノ乃^ノ梵^ノ天^ノの^ノ音^ノの^ノ分
 好^ノと^ノ音^ノ釋^ノ出^ノあ^ハり^ノ修^ノ羅^ノ日^ノの^ノ音^ノの^ノ分
 下^ノ界^ノの^ノあ^ハら^ハり^ノ音^ノの^ノ敵^ノ陣^ノを^ハた^ハれ
 あ^ハり^ノ忠^ノ則^ノも^ハ鎮^ノ

